

公益社団法人日本セラミックス協会
2018 年年会 申込要領

会期: 2018 年 3 月 15 日 (木) ~17 日 (土)
会場: 東北大学 (川内北キャンパス)
住所: 〒980-8576 仙台市青葉区川内 41
交通: 仙台市地下鉄東西線 川内駅 (キャンパス直結)

URL: <http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2018/>
問い合わせ先: nenkai2018@cersj.org



2018 年年会
ホームページ

目次

1. ご案内	2	4. 予稿原稿作成要領	10
1.1 開催概要	2	4.1 予稿原稿の投稿方法	10
1.2 会期プログラム(予定)	2	4.2 電子ファイルの作成方法	11
1.3 重要な日時	3	4.3 予稿原稿 作成見本	12
1.4 託児所	3	5. 発表要領	13
2. 参加登録	4	5.1 口頭発表要領	13
2.1 参加手順	4	5.2 ポスター発表要領	14
2.2 参加登録費	4	5.3 年会優秀ポスター発表賞	15
2.3 参加登録 注意事項	5	6. 企画・イベント	15
2.4 事前参加登録のキャンセル・返金	5	6.1 年会特別講演	15
2.5 予稿 PDF インターネット公開	5	6.2 基礎セミナー	16
3. 研究発表申込要領	6	6.3 産官学ミキシングセッション	17
3.1 研究発表申込手順	6	6.4 サテライトプログラム	18
3.2 申込資格(発表資格)	7	6.5 男女共同参画企画	19
3.3 申込の注意点	7	6.6 教育セッション	20
3.4 言語の制限	8	6.7 企業展示会	21
3.5 発表形式・発表時間	8	6.8 企業説明会	21
3.6 連続発表	8	6.9 顕微鏡写真展 学術写真賞 スケジュール変更のお知らせ	22
3.7 トピックス研究発表(プレス発表)	8		
3.8 年会発表セッション	9		
3.9 発表取り下げ(キャンセル)	9		

1.3 重要な日時

内容	開始	締切
研究発表申込・予稿原稿提出 連続発表申込 トピックス講演（プレス発表）申込 産官学ミキシングセッション申込 サテライトプログラム申込	2017年12月1日（金）14:00	2018年1月11日（木）14:00
事前参加登録申込 基礎セミナー参加申込	2017年12月1日（金）14:00	2018年2月9日（金）14:00
事前参加登録入金	2017年12月1日（金）14:00	2018年2月9日（金）
託児所申込	2017年12月1日（金）14:00	2018年2月28日（水）
予稿集発行日・予稿集事前送付日	2018年3月1日（木）	
予稿インターネット公開期間	2018年3月1日（木）10:00	2018年3月17日（土）24:00

プログラム編成は2018年1月中旬～下旬頃に実施予定です。

講演番号の通知は2018年2月上旬頃の予定です。

各種締切厳守

研究発表申込および事前参加登録は Web からの申込のみ受け付けます。

パソコンやネットワークのトラブル等、いかなる理由であっても、締切後は一切の例外なく受け付けできません。

1.4 託児所

託児所 申込締切:2018年2月28日（水）

料金はお預けになるお子様1人あたり1時間500円（税込）です。

ただし一日あたり1,500円のご負担を上限とします。

1時間500円、2時間1,000円、3時間以上のご利用の場合は1,500円となります。

託児所の利用を希望される方は、ホームページに掲載している申込フォームよりお申し込みください。

お申し込みがなかった場合、託児所は設置されません。ご了承ください。

2.参加登録

2.1 参加手順

年會に参加される方は、招待者を除き **全員参加登録が必要です**。
研究発表をされる方も忘れずに必ず参加登録をしてください。事前参加登録を推奨します。

	事前参加登録	当日参加登録
1. 参加申込	web 申込 締切 2018 年 2 月 9 日 (金) 14:00 http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2018	会期当日、総合受付にてお申し込みください。
2. 支払	郵便振替またはクレジットカード 入金締切 2018 年 2 月 9 日 (金)	会期当日、総合受付にてお支払いください。 現金のみ、カード不可。
3. 予稿集受取	入金確認ができた方に 予稿集 (DVD) ・参加証 (名札) を 2018 年 3 月 1 日 (木) に発送予定。	会期当日。総合受付にて 予稿集 (DVD) ・領収書・参加証 (名札) を お渡しします。
4. 会期当日	参加証 (名札) を身につけて直接会場へ ご来場ください。	受付後、参加証 (名札) を身につけて会場へ。

2.2 参加登録費

	個人会員 教育会員 特別 (法人) 会員の社員 (聴講)	学生会員 シニア会員 永年継続会員	非会員
事前参加登録 (WEB 申込)	10,000 円 (不課税)	5,000 円 (不課税)	27,000 円 (税込)
当日参加登録 (現金のみ)	12,000 円 (不課税)	6,000 円 (不課税)	
年会パーティ 参加費	参加費: 5,000 円 (税込) 日時 : 2018 年 3 月 16 日 (金) 18:30~ 会場 : 東北大学 川内北キャンパス キッチンテラス クルール 会期中の受付は会期 2 日目正午まで。ただし受付状況によってはこれ以前に受付を 締め切り、当日の受付は実施しない場合があります。 年会パーティ参加費は事前と当日による金額の違いはありません。		

- ・ 参加登録費には予稿集 (DVD) が含まれています。
- ・ 事前参加登録費および当日参加登録費に食事代は含まれておりません。
- ・ 請求書等が必要な方は年会ホームページからフォームにて申請してください。
- ・ 領収書について
 事前参加登録: 入金を確認できた時点でメールにて領収書 (PDF) を送付いたします。
 当日参加登録: 当日受付時にお渡しいたします。

参加費 振込後 (入金後) のキャンセルはできません。

キャンセルについての詳細はキャンセルの項目を参照してください。

2.3 参加登録 注意事項

1. 年會に参加される方は、招待者を除き、**全員参加登録が必要です。**
研究発表をされる方も、忘れずに必ず参加登録をしてください。事前参加登録を推奨します。
2. 事前参加登録について
 - ・事前参加登録を行い、入金確認が取れた方に、事前送付として、予稿集 (DVD) ・参加証 (名札) を 2018 年 3 月 1 日 (木) に発送いたします。ただし、送付先が海外の方は会期までに予稿集 (DVD) を届けることが困難なため、事前送付はせず、会期当日に総合受付にてお渡しします。
 - ・事前参加登録費の入金締切日までに入金のない場合は事前送付対象外となります。締切日以降は会期当日に総合受付にて現金で当日参加登録費をお支払いください。
 - ・予稿インターネット公開をご利用いただけます。
 - ・年会パーティ、基礎セミナーも同時にお申し込みいただけます。
 - ・「事前参加登録のご案内」および払込取扱票は、本誌表紙の次ページに綴じ込まれています。払込取扱票は郵便局備え付けのものもご利用いただけます (郵便局備え付け用紙の場合、振込手数料は振込者本人負担となります)。
3. 2018 年年会予稿集の発行日は **2018 年 3 月 1 日 (木)** となります。
特許申請を計画中の方はご注意ください。特許証明申請については下記の URL をご参照ください。
http://www.ceramic.or.jp/csj/tensai-tokkyo/n_tokkyo.html
4. 会員として事前参加登録をしたい場合、会員でない方は下記 URL より入会のお申し込みをお願いいたします。
<https://member.ceramic.or.jp/application.php>
入会手続きには会費納入の確認が必要なため、諸手続きとあわせて 2~3 日程度の日数を要します。
個人会員・学生会員として申し込まれる場合は、2018 年 2 月 2 日 (金) までに入会手続きおよび入会金・年会費の振込を必ず済ませてください。

2.4 事前参加登録のキャンセル・返金

参加費振込前 (入金前) に限り、2018 年 2 月 9 日 (金) までを期限としてキャンセルを受け付けます。

参加費 振込後 (入金後) のキャンセルはできません。

振込前 (入金前) の事前参加登録キャンセルにつきましては、すみやかに事前参加登録番号 (E から始まる 5 桁の番号・例 E0001) を明記の上 jizen@cersj.org までご連絡ください。

参加登録状況を確認し、キャンセルの手続きをいたします。

尚、振込後 (入金後) は事前送付の出荷準備が整えられてしまうため、振込後 (入金後) のキャンセルはお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

事前参加登録時には、登録内容 (参加資格 (会員区分) ・金額・送付先住所など) をよくご確認のうえ、ご登録くださいますようお願い申し上げます。

2.5 予稿 PDF インターネット公開

公開期間:2018 年 3 月 1 日 (木) 10:00 ~ 2018 年 3 月 17 日 (土) 24:00

事前参加登録を行い、入金確認が取れた方に、予稿をインターネット上に公開します。

各講演の予稿 PDF の閲覧およびダウンロードが可能です。

当日参加登録をされた方には、会期当日に希望者に閲覧用の ID を発行します。

3. 研究発表申込要領

- 申 込 URL ■ <http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2018/>
- 申込受付期間 ■ 開始 2017 年 12 月 1 日 (金) 14:00
 締切 2018 年 1 月 11 日 (木) 14:00 **締切厳守**

Web からの申し込みのみ受け付けます。
 パソコンやネットワークのトラブル等、いかなる理由であっても
締切後は一切の例外なく受け付けできません。

研究発表申込と予稿原稿 (PDF) 提出を同時に受け付けます。
 申込時に予稿原稿 (PDF) と抄録 (和文 300 字程度) が必須となります。
 申込後、期間内であれば申込内容の修正、予稿 PDF の差し替えが可能です。
修正や差し替えについても締切までに完了してください。
 ご理解、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

3.1 研究発表申込手順

1. 申込	http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2018/ 開始 2017 年 12 月 1 日 (金) 14:00 締切 2018 年 1 月 11 日 (木) 14:00 締切厳守
2. 受理通知	研究発表の申込受理の連絡は、即時電子メールにて連絡者に通知します。 このメールが即時届かない場合は、申込時に申し込みが正しく行われていない可能性が高いので、直ちに nenkai2018@cersj.org へご連絡ください。
3. 講演番号通知	プログラム編成は 2018 年 1 月中旬～下旬頃に実施予定です。 講演番号の通知は 2018 年 2 月上旬頃の予定です。 連絡者にメールで講演番号を通知します。
4. 参加登録	事前参加登録または当日参加登録が必要です。事前参加登録を推奨します。 研究発表申込と並行して事前参加登録が可能です。
5. 会期当日	発表要領を参照の上、発表を行ってください。

3.2 申込資格（発表資格）

公益社団法人日本セラミックス協会の個人会員および学生会員。

入会のご案内

研究発表申し込みにあたって、連絡者および発表者は本会の会員（個人会員または学生会員）であることが必要です。特別（法人）会員所属の社員で個人会員資格をお持ちでない方、その他、会員でない方は下記 URL より入会のお申し込みをお願いいたします。<https://member.ceramic.or.jp/mypage/application.php>
入会手続きには会費納入の確認が必要なため、諸手続きとあわせて2～3日程度の日数を要します。個人会員・学生会員として申し込まれる場合は、2018年2月2日（金）までを目安として入会手続きおよび入会金・年会費の振込を必ず済ませてください。



3.3 申込の注意点

1. Web からの申し込みのみ受け付けます。パソコンやネットワークのトラブル等、いかなる理由であっても、締切後は一切の例外なく受け付けできません。研究発表申込と予稿原稿（PDF）提出を同時に受け付けます。申込時に予稿原稿（PDF）と抄録（和文 300 字程度）が必須となります。申込後、期間内であれば申込内容の修正、予稿 PDF の差し替えが可能です。修正や差し替えについても締切までに完了してください。ご理解、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。
2. Web での講演申込が完了すると、完了画面に「演題受付番号」が表示されます。この番号は、申込受付期間中に申込内容の確認・変更・取り下げ・予稿原稿ファイルの差し替えを行う場合に必要となりますので、必ず控えをとってください。「演題受付番号」が表示されていない場合は、申込が正しく行われていません。恐れ入りますが、初めから登録をやりなおしてください。
3. Web での申込が完了すると、ご登録いただいた「連絡者」の電子メールアドレスに登録完了のメッセージが送信されます。この電子メールが即時届かない場合は、申込が正しく行われていません。恐れ入りますが、初めから登録をやりなおしてください。なお、迷惑メールフォルダに振り分けられているケースが見受けられますので、問合せの前にご確認をお願いいたします。
例年、講演申込締切日にかなりの数の申込が集中しますが、トラブルを事前に避ける意味でもできる限り締切日前日までに申し込まれるようお願いいたします。申込締切日は以後の作業スケジュールを考慮して最大限、期日を遅く設定しております。講演申込者の皆様には事情をご理解の上、宜しくご協力のほどお願い申し上げます。
4. 期間内であれば申込内容の修正、予稿 PDF の差し替えが可能です。すべての手続は締切までに完了させてください。締切後の修正・差し替えは一切の例外なく受付できません。
予稿原稿作成要領は別項をご覧ください。
5. 予稿集の発行日
2018 年年会予稿集の発行日は 2018 年 3 月 1 日（木）となります。
特許申請を計画中の方はご注意ください。特許証明申請については下記の URL をご参照ください。
http://www.ceramic.or.jp/csj/tensai-tokkyo/n_tokkyo.html
また、発行日より前となる 2 月下旬頃にホームページにてプログラムの公開を行う予定です。
プログラムには、タイトル、研究者が記載されます。
6. すべての連名発表者から同意を得てから発表申込を行ってください。
7. 学生による発表は、必ず責任者（問合先）となる指導教員等が連名である必要があります。
学生が連絡者となって発表申込する場合は、登録画面において指導教員等の E-mail アドレスを入力欄に必ず記入してください。
8. 予稿集に掲載される予稿の著作権は、公益社団法人日本セラミックス協会に帰属します。

3.4 言語の制限

研究発表および予稿集に使用する言語は「日本語」または「英語」とします。

3.5 発表形式・発表時間

発表者の希望により、《口頭発表》・《ポスター発表》・《口頭またはポスター発表のどちらでも良い》のいずれかで受け付けます。ただし、会場等の都合により、発表形式の変更をお願いする場合があります。最終的な発表形式は、行事企画委員会にご一任ください。

《口頭発表》発表時間 15 分（発表 10 分、質疑応答 4 分、交代 1 分）

会場には液晶プロジェクタが用意してあります。PC は発表者ご自身でご用意ください。

PC の外部出力設定の不具合や映写用ソフトの誤操作が増えております。

発表前に操作の確認をし、必ず操作方法を熟知した上で、ご発表くださいますようお願いいたします。発表要領は別項をご参照ください。

《ポスター発表》発表時間 120 分（コアタイム 60 分）

2018 年年会のポスター発表は会期 1 日目の 2018 年 3 月 15 日（木）15:30～17:30 を予定しております。

発表要領は別項をご参照ください。

ポスター発表では、日本セラミックス協会年会優秀ポスター発表賞を選考します。詳細は別項をご覧ください。

3.6 連続発表

関連した内容の連続発表（3 件まで）を希望される場合は、ホームページの連続発表申込用フォームによりお申し込みください。ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。申込締切 2018 年 1 月 11 日（木）14:00

3.7 トピックス研究発表（プレス発表）

発表内容の新聞等への積極的な公表をご希望される研究発表について、選考の上、トピックス研究発表として新聞社等へ広報いたします。ご希望の方は、Web による発表申込の際、トピックス研究発表希望に対する項目を設定いたしますのでご記入ください。また、選定の際に参考にさせていただきますので、ホームページから専用のフォームにてお申し込みください。

トピックス研究発表への申し込みは他のマスコミや報道機関へ未発表のものに限ります。

3.8 年会発表セッション

演題登録時に、以下のセッション表から、発表を希望するセッションをお選びください。

《材料・物性セッション》と《手法セッション》からそれぞれひとつずつ選択し、どちらかを第一希望としてください。プログラム編成の際に、この情報を用います。全てのセッションで口頭発表とポスター発表を受け付けます。

発表形式を含め、最終的な発表セッションについては行事企画委員会にご一任ください。

	セッション名	キーワード
〈材料・物性セッション〉	01. エンジニアリングセラミックス	構造用セラミックス、複合材料、繊維、耐火物、多孔体、機械的特性、信頼性、トライボロジー、熱物性、耐食・耐酸化性、接着・接合、コーティング、キャラクタリゼーション
	02. 誘電性材料	強誘電性材料、圧電体、セラミックコンデンサ、高周波材料、薄膜プロセス、光機能性
	03. 導電性材料	電子機能材料、電極、半導体セラミックス、センサ、イオン伝導体、熱電変換、薄膜プロセス、光機能性
	04. 磁性材料	磁場応答材料、磁性体、フェライト、コイル、薄膜プロセス、光機能性
	05. ガラス・フォトンクス材料	ガラス・アモルファス材料、結晶化ガラス、蛍光体・蓄光体、光学素子、ガラス固化体、ガラス構造、電気・磁気・光学的性質、熱・機械・化学的性質、緩和・融体物性、熔融法、レーザー加熱法
	06. 生体関連材料	バイオセラミックス、医用材料、歯科材料、抗菌性材料、生体模倣材料、生体適合性、生体活性、細胞機能制御、再生医療、ドラッグデリバリーシステム、診断
	07. セメント	セメント、循環型社会、低炭素社会、循環型資源、リサイクル
	08. 陶磁器	粘土、炉、可塑成形、高圧鑄込み、粉体プレス、釉薬、絵付け、金銀装飾
	09. 環境・資源関連材料	資源回収・再利用、廃棄物処理・再利用、光触媒、環境浄化材料、分離・吸着材料、省資源、水処理、ナノ粒子、粉末、多孔体
	10. エネルギー関連材料	燃料電池、二次電池、太陽電池、キャパシタ材料、エネルギー貯蔵材料、水素エネルギー材料、省エネルギー材料
	11. その他材料	上記以外の新材料、新物質、新物性、新機能、新領域
	12. 教育	地域貢献、高大連携、生涯学習支援、社会人教育、インターンシップ、人材育成、キャリア教育
〈手法セッション〉	13. 液相プロセス	ゾルゲル法、熱分解法、沈殿法、水熱合成法、ソルボサーマル法、液相析出法、電解析出法、液晶鑄型法、電気泳動、インターカレーション、イオン交換、単結晶合成
	14. 気相プロセス	PVD、CVD、プラズマプロセス、単結晶合成
	15. パウダープロセス	粉体特性、粉碎、スラリー、分散、成形、乾燥、焼結、接合、加工、燃焼合成、溶射
	16. キャラクタリゼーション	構造評価・解析、元素分析、状態分析、組織解析、計算機シミュレーション、計算科学、分析・解析手法開発、新物質
	17. 教育	アクティブラーニング、ICT活用、PBL、サービスラーニング

3.9 発表取り下げ (キャンセル)

発表取り下げ (キャンセル) は、研究発表申込締切日までに 申込画面からお手続きください。

取り下げ手続きは、申込画面から取り下げたい受付番号を入力の上、取り下げボタンにチェックを入れて完了画面まで進んでください。研究発表申込締切後の発表取り下げ (キャンセル) は認められません。

4. 予稿原稿作成要領

本要領は予稿原稿作成上の留意事項をまとめたものです。AdobePDF (Portable Document Format) 形式ファイルの電子投稿のみとします。行事企画委員会では、各種ワープロソフトの文書ファイルから PDF 形式ファイルへの変換サービスは行いませんのでご了承ください。予稿集に掲載された予稿の著作権は、公益社団法人日本セラミックス協会に帰属します。また、予稿集の電子化に伴い、投稿されたファイルはそのままの形で電子版予稿集に掲載されます。

4.1 予稿原稿の投稿方法

1. 投稿は PDF ファイル (電子ファイル) のみ受け付けます。
2. 予稿原稿の投稿は、下記 URL よりアップロードしてください。
3. アップロードできるファイルサイズの上限は 3MB 程度です。文書中の写真や画像の解像度に注意してください (4.2-5 項を参照)。ファイル名はご自由に設定してください。
4. 電子メールの添付書類での電子投稿は受け付けません。
5. 必ず期日までに Web から電子投稿していただきますようお願いいたします。

■ 申 込 URL ■ <http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2018/>
■ 申込受付期間 ■ 開始 2017 年 12 月 1 日 (金) 14:00
締切 2018 年 1 月 11 日 (木) 14:00 **締切厳守**

Web からの申し込みのみ受け付けます。
パソコンやネットワークのトラブル等、いかなる理由であっても
締切後は一切の例外なく受け付けできません。

研究発表申込と予稿原稿 (PDF) 提出を同時に受け付けます。
申込時に予稿原稿 (PDF) と抄録 (和文 300 字程度) が必須となります。
申込後、期間内であれば申込内容の修正、予稿 PDF の差し替えが可能です。
修正や差し替えについても締切までに完了してください。
ご理解、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

4.2 電子ファイルの作成方法

1. AdobePDF 形式で投稿していただきます。

2. 用紙の設定:

原稿に用いる用紙のサイズは A4 判 (210mm×297mm) 縦とします。必ず Word のテンプレートファイルをホームページ (<http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2018/>) よりダウンロードして使用してください。

3. PDF 原稿を作成する際の OS とアプリケーション:

OS は各社サポート対象となっているバージョンを推奨いたします。PDF を作成するアプリケーションは、各 OS に対応した Adobe 社の Acrobat を推奨いたします。作成方法については Acrobat 付属のマニュアルをご覧ください。例えば Word から Acrobat で PDF を作成する場合は、メニューの「ファイル」→「プリント」→「プリンタ」で「Adobe PDF」を選択→「プロパティ」(Mac では「PDF オプション」) より「High Quality」もしくは「Press Quality」を選択の上「プリント」ボタンを押してください。Mac OS X には、標準で PDF 形式のファイルを作成する機能があります。プリントのダイアログにある「PDF として保存」を選んでください。その際に「拡張子を隠す」のチェックをはずすと、ファイル名に“.pdf”がついたことが確認できます。特に、Adobe Acrobat 以外の PDF 作成ソフトでは、使用したフォントが別のフォントにおきかわる場合がありますので、必ず作成後確認を行ってください

4. 使用可能なフォント:

コンピュータの機種・環境により文字化けが発生する可能性がありますので、使用可能なフォントを下記の範囲に制限させていただきます。電子ファイルアップロード(電子投稿)の際に使用フォントのチェックを行います。指定外のフォントを使用したファイルは投稿できませんのでご注意ください。また、前項の通り pdf 形式ファイルを「High Quality」もしくは「Press Quality」を選択して作成することで文書にフォントが埋め込まれ、文字化けが起こらなくなります。メニューの「ファイル」→「文書のプロパティ」の「フォント」で、使用している下記のフォントが「埋め込みサブセット」になっていることをご確認ください。

MS 明朝、MS ゴシック、MS P 明朝、MS P ゴシック、平成明朝、平成角ゴシック、ヒラギノ明朝、ヒラギノ角ゴ

Arial, **Arial-Bold**, *Arial-Italic*, **Arial-Bold Italic**, Courier, **Courier-Bold Oblique**, *Courier-Oblique*, Helvetica, **Helvetica-Bold**, *Helvetica-Bold Oblique*, *Helvetica-Oblique*, Symbol, Times-Roman, Times, Times New Roman, **Times-Bold**, **Times-Bold Italic**, *Times-Italic*, Zapf Dingbats

5. 写真や画像などの解像度と大きさ:

写真や画像の解像度は600dpi程度を推奨します。解像度を上げすぎると、ファイルサイズが大きくなります。解像度を下げすぎると仕上がりが悪くなります。カラーの写真、画像をお使いいただけます。ただし、本文は白黒としてください。

6. 作成したPDFファイルの確認:

いずれの方法で作成した場合も、必ずPDF閲覧ソフトウェアで印刷を行い、意図した原稿になっていることを確認してください。

7. ファイル形式とファイル名:

ファイル名はご自由におつけください。

ただしMac OSをお使いの方も必ずPDFの拡張子を付けてください。

(例) 日本セラミックス協会年会-氏名.pdf

4.3 予稿原稿 作成見本

A4 用紙 (縦) PDF ファイルのみ受け付けます (郵送不可)

講演番号挿入スペース (協会で編集時に挿入します)	上部余白 25 mm	
予稿原稿作成見本		
(セラミックス大学) ○世良太郎・三久須花子、(マテリアル研究所) John. F. Ceramics		
Example of Preprints / T. Sera, H. Mikusu(Ceramics Univ.), J. F. Ceramics (Materials Inst.) / The manuscript should be typewritten on A4 (210 × 297 mm) paper with 25 mm margins for top and bottom and 20 mm margins for left and right. Presentation title, authors' names, affiliations and an abstract of 50-100 words in English should be presented. Please read carefully the following instructions and prepare a clear manuscript for the annual meeting. 問合先:E-mail: taro.sera@ceramics-u.ac.jp		
(本文)		
1) 予稿原稿は、Microsoft Word 用テンプレートファイルを協会ホームページからダウンロードして作成してください。(http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2018/)		
<ul style="list-style-type: none">・予稿原稿サイズ：A4 縦置き。余白 (マージン) 左右 20mm, 上下 25mm. 枠線は不要.・文字サイズ：演題 12 ポイント (ボールド), 英文概要 9 ポイント, 本文 10 ポイント.・テキスト本文は黒字とし, 画像 (グラフ、写真) は白黒またはカラーとします.・段組みはしないでください.・講演番号, ページ番号等のヘッダー・フッターは事務局で付けます.		
2) ページ数は 1 ページで作成してください.		
3) 提出ファイルは Adobe PDF 形式に限ります. PDF ファイルの作成に当たって, 以下の点にご注意ください.		
<ul style="list-style-type: none">・Adobe Acrobat Reader 5.0 以上で表示・印刷可能なファイルとしてください.・PDF ファイルの大きさは, 3MB 以下になるようにしてください.・文字化け防止のため, フォントを埋め込んでください.・セキュリティ設定は「なし」としてください.		
4) 執筆要領		
<ul style="list-style-type: none">・発表者 (登壇者) には ○印を付けてください.・演題, 日本語の所属・氏名, 英文概要の後にそれぞれ 1 行空けてください.・英文概要は, 演題, 著者 (登壇者には下線をつける), 所属、抄録 (50~100 語) の順に書いてください.各項目は / (半角スペース+半角スラッシュ+半角スペース) で区切ってください.・英文概要の後に問合先 (E-mail または FAX) を書いてください.<u>発表者が学生の場合は指導教員の連絡先を記載してください.</u>・英文概要と本文の間に, 線を引いてください.・図表のキャプションおよび軸タイトル, 凡例等は, 原則英語で記載してください.解像度は 600dpi 程度をお勧めします.・単位は原則 SI 単位を使用してください.		
→ (この枠は書かないでください)		
日本セラミックス協会 2018 年年会 講演予稿集		
© The Ceramic Society of Japan, 2018		
↓		
(このフッターは協会編集時に挿入します)		

5.発表要領

トラブル回避のため、下記をご熟読の上、事前準備をお願いいたします。

5.1 口頭発表要領

A. 発表時間 (1コマ15分)

一般講演 合計 15分 (講演 10分、質疑応答 4分、交代 1分)

招待講演 合計 30分 (講演 25分、質疑応答 4分、交代 1分)

講演中は、スムーズな進行のため、下記の通りベル (タイマー) が鳴ります。

第1鈴：講演終了2分前 / 第2鈴：講演終了時 / 第3鈴：質疑応答終了時

B. 準備する機材等

1. 協会は以下のものを準備いたします:

- ① 液晶プロジェクタ
- ② プロジェクタ接続用ケーブル (ミニD-sub15 ピン端子 (オス))
- ③ モニタ切替器
- ④ パソコン用AC電源 (テーブルタップ)

2. 発表者は以下のものを準備してください:

- ① パソコン：映像出力端子がミニD-sub15 ピン端子 (メス) のもの。
- ② プロジェクタ接続用アダプタ：ミニD-sub15 ピン端子 (メス) を持たないパソコンをご使用の際は必ずご持参ください。極薄型ノートパソコンやMacの場合には特にご注意ください。

C. 準備・発表の流れ

次講演者席を用意していますので、必ず発表時間の前に着席し、時間に余裕をもって発表準備を行ってください。協会が設置するモニタ切替器には最大3本のケーブルが接続されています。ご自身の発表の最大2件前から接続を行うことができます。

1. 「パソコンを起動し、プレゼンテーション用ファイルを開く」
2. 「発表前にケーブルを接続する」
3. 「外部映像出力へ切り替える」
4. 「自分の発表時間が来たらモニタを切り替える」
5. 「発表する」
6. 「発表終了後、速やかにパソコンの接続ケーブルを取り外す」

D. 確認・注意事項

1. パソコン画面の外部映像出力への切替方法を、お手持ちのパソコンのマニュアル等によりご確認ください。Windows機とMac OS機、さらに機種やOSのバージョンによって切替方法が異なります。
2. パソコン画面の解像度 (XGA、SXGA、SXGA+、WXGA など) をご確認ください。今回使用できる液晶プロジェクタはXGA (1024×768 ピクセル) まで表示が可能です。SXGA 以上の高解像度やワイド型パソコンのWXGA だと正確に表示されない場合があります。
3. プレゼンテーションソフト (パワーポイントなど) の操作方法をご確認ください。
4. パソコンの起動 (あるいはスリープ状態の解除) 前に液晶プロジェクタと接続しておかないと映像出力が認識されない機種がありますので、充分ご注意ください。(MacOS機の一部等)
5. 音声の接続は行いません。発表あるいは準備中にパソコンから音声・サウンドが出ないように、予め設定してください。
6. 発表中にパソコンの画面が消えないよう電源や省電力機能の設定をご確認ください。
7. 協会は発表用のパソコンを用意いたしません。
8. パソコンの接続・モニタ切替・操作等はすべて発表者側で行っていただきます。
9. パソコンのトラブルによる発表時間の延長は認めません。
10. 試写室はありません。各会場の空き時間 (朝、昼休み、休憩時間帯など) に映写・接続確認を行ってください。

5.2 ポスター発表要領

1. サイズ
 横幅 900mm×高さ 2000mm (予定) ポスターはボードに収まる範囲で作成してください。
 推奨サイズ:A0 (横 841×縦 1189mm)。
2. 英語表記
 タイトル、発表者、所属が日本語の場合は英語でも表記してください。
 図、表のキャプション、軸、凡例は英語で表記してください。
3. 掲示方法
 パネル掲示の際は、押しピン (画鋏) を使用してください。マグネット、テープは不可。
 押しピン (画鋏) は協会が用意いたします。
 ポスターボードには講演番号を掲示いたします。
 指定された場所にポスターの掲示をお願いいたします。
4. タイムスケジュール

2018 年 3 月 15 日 (木) 会期 1 日目

9:00	9:00~12:00 ポスター掲示	
	特に優秀ポスター発表賞の審査を希望する方は 12:00 までに掲示を終えてください。	
10:00		
11:00		
12:00	12:00~15:00 事前審査	
	審査員が掲示されている各ポスターを見回ります。発表者はボード前に立つ必要はありません。	
13:00		
14:00		
15:00		
	15:30~16:30 講演番号 奇数 発表コアタイム(60分)	
16:00		16:15~16:30(15分)講演番号 偶数 審査優先タイム
	16:30~17:30 講演番号 偶数 発表コアタイム(60分)	16:30~16:45(15分)講演番号 奇数 審査優先タイム
17:00		
	17:30~18:00 撤去	
18:00		

※時間までに未撤去のものは、廃棄処分させていただきます。

※審査員が審査対象の発表者へ質疑を行う際にはご協力をお願いいたします。

5.3 年会優秀ポスター発表賞

日本セラミックス協会年会優秀ポスター発表賞は、年会において優れたポスター発表を行った若手会員を表彰するもので、研究内容及びプレゼンテーションを評価の対象として、最優秀賞と優秀賞を選考いたします。昨年の日本セラミックス協会年会優秀ポスター発表賞の結果については、セラミックス誌本年7月号およびホームページをご参照ください。

対象:

発表者が第一著者であるすべてのポスター発表の中で、発表者が当該年会開催時点で35歳以下の発表を対象といたします。発表者は個人会員・学生会員が対象となります。

申込:

Webでの研究発表申込時に、選考を希望されるかどうかをご選択ください。

「希望しない」を選択された場合は、有資格者であっても選考されませんのでご注意ください。

選考（審査）:

「日本セラミックス協会年会優秀ポスター発表賞選考委員会」が行います。審査の指示がある場合は従ってください。

本会では、審査員が限られた時間内で審査対象となるポスターの内容を適切に把握することを目的に事前審査を行います。事前審査においてポスターが未掲示の場合、審査上の不利益につながるものが想定されますので、ポスター発表賞を希望される方は、指定の12:00までに掲示を完了してください。事前審査の間はポスター審査員、発表者、およびセラミックス協会関係者のみ立ち入ることができます。その他の方の入場はご遠慮いただきます。

6.企画・イベント

6.1 年会特別講演

演題	福島高汚染水処理技術とセラミックス材料
講師	三村均 東北大学名誉教授、ユニオン昭和株式会社 最高技術顧問
会場	東北大学 川内北キャンパス
日時	会期2日目 2018年3月16日(金)17:10~18:10
参加方法	会場に直接お越しください。

6.2 基礎セミナー

—透過型電子顕微鏡 (TEM) の基礎と応用—何が出来るか？何がわかるか？ (仮題) —

今年度は、透過型電子顕微鏡 (TEM) に焦点をあて、行事企画委員会主催の基礎セミナーを開催します。講師には世界的に活躍されている先生方をお招きし、基礎から応用まで、初学者向けにわかりやすく解説して頂きます。これらの研究をはじめたいと思っている企業研究者や学生の方々、すでに行っているが基礎から見直したいと思っているの方々など、多数の参加をお待ちしております。セラミックス協会会員の方はもちろん、新たにセラミックス協会に入会しての参加や非会員としての参加も可能です。是非、奮ってお申し込みください。

<プログラム (予定) >

日時 2018年3月15日 (木) 9:30~12:30

座長 黒田義之 (横浜国立大学)

時間	講師・内容 (仮)
9:30-10:30 (60分)	今野豊彦 東北大学 金属材料研究所 教授
10:30-10:40 (10分)	質疑
10:40-10:50 (10分)	休憩
10:50-11:50 (60分)	荒尾正純 株式会社日産アーク デバイス解析部 電池解析室 電池解析チーム
11:50-12:00 (10分)	質疑
12:00-12:15	意見交換・名刺交換

<基礎セミナーの参加費用> 参加費用:2018年年会の参加費用+基礎セミナーの参加費用

会員種別	個人会員 (学生会員、シニア会員、教育会員含む)	特別会員	非会員
セミナー 参加費用	1,000円 (税込)	5,000円 (税込)	10,000円 (税込)

*セミナーへの参加は年会参加が必要です。セミナー単独の参加はできません。

*セミナー資料の準備と受付の混乱を避けるために、Webからの事前申し込みを原則といたします。

*空きがある場合のみ、当日受付を行います。

*非会員の方も、Webから事前申し込みをしてください。当日入会すると、会員価格にて参加することもできます。

6.3 産官学ミキシングセッション

ー化学センサー

日本セラミックス協会年会では、イノベーション創出の源泉となることを期待し、産業界のニーズと官学の研究シーズの出会いの場として『産官学ミキシングセッション』を設けています。本セッションは産官学の相互交流及び連携を更に促進することを目的とし、広範なセラミックス技術の中から毎年、注目度の高い研究領域に焦点をあてます。

本年度は、IOT 技術の急速な発展に伴い、近年脚光を浴びている化学センサについてセッションを設けました。調査研究、試作・製造技術、応用製品、技術調査など、いろいろな視点に立った幅広い研究発表を募集します。

【セッションの内容】

本セッションは、ニーズの視点に立ち技術領域におけるセラミックスユーザーの代表の方に講演いただく『ユーザーサイド 2018』と研究シーズとしてそれに関連する「一般講演」からなります。興味を同じくする広い領域の研究者・技術者に参加していただき、ニーズ及びシーズの接点を見出しやすい環境を設けます。

ユーザーサイド 2018 (招待講演)
坂田利弥 東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻 講演内容：IGZO TFT を用いたバイオセンサ
大西久男 大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所 講演内容：MEMS 技術を用いたガスセンサ
寺崎正 産業技術総合研究所 製造技術研究部門 トリリオンセンサ研究グループ 講演内容：トリリオンセンサ

一般講演は、『化学センサ』にフォーカスし、対象となる技術領域に関連し、かつ積極的な連携を希望するものを募集します。「連携を目的とした既発表内容を主とした講演」や「産業界からのニーズ提示及び共同研究の提案の講演」でも結構です。また、より緊密な発表者とのコミュニケーションができるポスターセッションでも『産官学ミキシングセッション』の枠を設定いたします。

【申し込み方法】

Web による 2018 年年会発表申込において、『産官学ミキシングセッション』での発表希望を選択してください。発表の希望件数が多くなった場合はプログラム編成において調整させていただく場合もございます。ご希望に添えない場合もあるかもしれませんが、ご容赦ください。

【発表形式】

『産官学ミキシングセッション』は《口頭発表》及び《ポスター発表》で構成されます。

本セッションの申込みの際は、ご希望に沿っていずれかをご選択ください。口頭発表時間は、一般講演発表と同じく 15 分（発表 10 分、質疑応答 4 分、交代 1 分）といたします。発表時間が不足する場合は連続講演として下さい。なお、『ユーザーサイド』は 30 分を予定しています。

『産官学ミキシングセッション』の開催は会期 3 日目 11～12 時、「導電性材料」セッション会場での開催を予定しています。

6.4 サテライトプログラム

行事企画委員会では、年会のサテライトプログラムとしてセラミックスに関する学術・研究・教育など各分野での集会やセミナーとして利用していただくために、年会の会場を無料で提供しております。2018 年年会も下記の通りサテライトプログラムの開催を募集いたします。

- 日 時: 2018 年 3 月 15 日 (木) 9:00～12:00
- 主 催: 日本セラミックス協会・各支部・部会・研究会・委員会
および行事企画委員会が認める組織・団体
- 内 容: セラミックスに関する学術・研究・教育などの各分野の集会やセミナー
- 会 場: 1 プログラムにつき原則として 1 会場を無料で提供いたします。
スクリーンおよびプロジェクタ (会場の規模によってはマイク) は用意いたしますが、
受付、案内・掲示、PC 等は各団体で用意してください。
- 会 告: セラミックス誌 2018 年 3 月号、協会ホームページ、予稿集に会告を無料で掲載いたします。
会告の内容は行事企画委員会の規定に準拠していただきます。
ホームページより会告用原稿フォーマットをダウンロードし、締切日までに送付願います。
- 申込方法: 2018 年年会ホームページのフォームよりお申し込みください。
申込後、会告用原稿を下記宛にお送りください。
原稿フォーマットもホームページに掲載予定です。
公益社団法人日本セラミックス協会 サテライトプログラム係
E-Mail: nenkai2018@cersj.org
- 申込締切: 2018 年 1 月 11 日 (木) 14:00 必着

ご不明の点は上記申込先にお問合わせください。なおサテライトプログラム開催の承認は、行事企画委員会が行います。開催内容がサテライトプログラムの趣旨にそぐわない等の場合には開催をお断りする場合がございます。

2018 年年会
ランチオンセミナー
セラミックスカフェのご案内
Ceramics Cafe

★セラミックス協会会員以外の方も、どなたでもご自由に参加いただけます。

日時：2018年3月16日（金）12時～13時

会場：東北大学（川内キャンパス）B棟1階A会場（予定）

ランチ：お弁当と飲み物を無料でお配りします。（先着70名）
（ランチを食べながらお聞きください）

12時～12時40分 講演

私たちは「働き方改革」「ワークライフバランス」をどのように
捉えるべきか？

講師：松本 晃秀 氏（リープクリエーション合同会社代表）



12時40分～13時 フリートーク&交流

司会：男女共同参画委員長 中野 裕美（豊橋技術科学大学 教授）

講演概要

2016年9月、総理官邸で第1回「働き方改革実現会議」が開催され、今、日本社会では、一人でも多くの人が活躍し成果を挙げられるように企業・個人ともに「変化すること」が求められています。今回、「働き方改革」や「ワークライフバランス」、そして「就職」「転職」「働く意味」「キャリア形成」「ワークスタイル」に対する企業や個人の価値観（認識）を変えることの重要性について500社を超える企業と1000人を超える個人に直に触れてきた経験から見えてきたこと、感じてきたことをもとにざっくばらんにお話させていただければと思います。

学生さんにとっては、就活・就職に臨むための基本編として、若手社員・研究者にとっては、キャリアアップのために効率的な働き方を見直す機会として、さらに管理職の方にとっては、ダイバーシティマネジメントを進めるために、この機会にぜひ意見交換の場としてセラミックスカフェをご活用ください。

6.6 教育セッション

2018年年会・教育セッションでの発表を是非ご検討下さい

高校、高専、大学、企業等における工学教育を充実させることは、ものづくり活動を通じて社会を支える技術を担う人材を育てるという観点から極めて重要です。教育委員会では、この目的を達成するために、年会での教育セッションおよび高等学校作品展、セラミックス大学、課題研究フォーラム、理工系人材育成助成などの活動を行っています。

教育を充実させるために重要なものは、教師のスキルアップと優れたコンテンツです。これまで年会教育セッションでは、小中学校から大学・大学院までを対象とした、広範囲にわたるセラミックス・材料関連の優れた教育の取り組みや実習などに関する発表が、多数行われてきました。その聴講や質疑応答を通じて得た情報が参考になって、自らが担当する授業・実験実習の内容や方法の改善に役立ったという声を、多くの参加者の皆様から頂戴しています。

2018年年会でも教育セッションを設けます。これからのセラミックスを支える人材の育成を一層推進するためにも、ぜひ年会・教育セッションで、さまざまな教育に関わる事例や取り組みについてのご発表をいただきたくお願いいたします。

例えば、「**授業や学生実験での取り組みの紹介**」、「**効果的だった教育方法**」、「**産学連携・地域連携の教育活動**」、「**社会人教育の事例**」、「**企業における人材育成の取り組み**」、「**キャリア教育**」、「**小中高校の児童・生徒への実験講座**」など、教育に関する話題であれば何でも構いません。教育に携わる皆様の情報交換の場として、教育セッションを積極的に活用していただきたいと思います。代表的なキーワードを下記に挙げますが、これら以外のものも歓迎します。

教育セッションにおける発表のキーワード例

教育方法	アクティブラーニング、PBL、ICT活用、反転授業など
教材開発	実験教材の開発、教育ソフトウェア、e-learningコンテンツ など
技術者教育	JABEE、倫理教育、継続教育、社会人再教育、人材育成など
連携教育	キャリア教育、サービ斯拉ーニング、高・高専・大連携、地域連携など

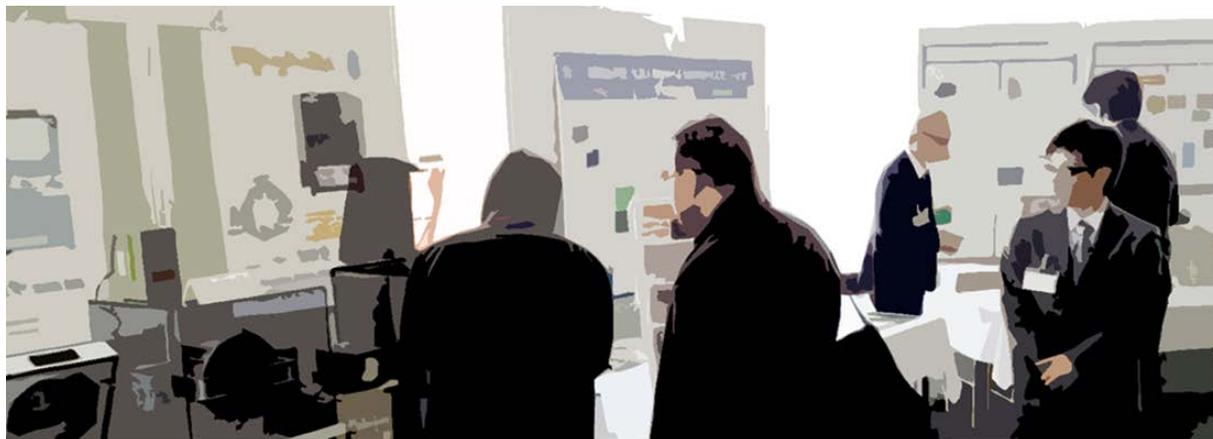
2018年年会での教育セッションは、**一般セッションと同様に行われる予定です**。セラミックス・材料教育にご関心のある方の積極的な参加をお待ちしております。

お問い合わせはこちらへ：cersj-kyouiku@cersj.org

6.7 企業展示会

日本セラミックス協会行事企画委員会では、2018 年年会においてもセラミックス関連企業の展示会を開催いたします。情報交換や交流の場として、ぜひご活用ください。

会場 東北大学 川内北キャンパス 講義棟 B 棟 談話室（総合受付と同じフロア）
日時 2018 年 3 月 15 日（木）9:00～3 月 17 日（土）14:00



6.8 企業説明会

企業説明会とは、セラミックスに携わる人材が一堂に会する年會を、特別（法人）会員の皆様と就職を控えた学生・就職担当の高等教育機関職員との間の情報交換ならびに人材マッチングの場として有効に使っていただきたいという発想から生まれた企画です。少人数ブース制のアットホームな雰囲気の中で、セラミックス関連企業の方々とじっくりお話をされてみてはいかがでしょうか。

学生のみなさん、学生・就職担当の高等教育機関職員のみなさん、ふるって【企業説明会】にご参加ください！

会場 東北大学 川内北キャンパス 講義棟 A 棟
日時 2018 年 3 月 15 日（木）9:00～15:00
参加方法 直接会場にお越しください。企業説明会のみ参加の場合、年會の参加登録は不要です。



6.9 顕微鏡写真展 学術写真賞 スケジュール変更のお知らせ

第 43 回学術写真賞から、下記の通り、応募および展示スケジュールが変更となります。
そのため、2018 年年会では募集および展示を行いません。

これまで年会会場での展示しておりましたが、第 43 回から秋季シンポジウム会場で展示することとなります。詳細につきましては、今後ホームページおよびセラミックス誌に掲載予定です。

第 43 回学術写真賞 応募～展示スケジュール (予定)

2018 年

7 月 募集〆切

7 月 1 次審査

8 月 2 次審査

9 月 5 日(水)～7 日(金) 第 31 回秋季シンポジウム (名古屋工業大学) にて全応募作品の展示

翌年 5 月 受賞作品の顕微鏡学会での展示

翌年 6 月総会 最優秀賞の表彰

従来の審査～展示スケジュール

1 月中旬 募集〆切

1 月下旬 1 次審査

2 月 2 次審査

3 月年会 全応募作品の展示

5 月 受賞作品の顕微鏡学会での展示

6 月総会 最優秀賞の表彰



今後の審査～展示スケジュール (予定)

7 月 募集〆切

7 月 1 次審査

8 月 2 次審査

9 月秋季 全応募作品の展示

翌年 5 月 受賞作品の顕微鏡学会での展示

翌年 6 月総会 最優秀賞の表彰

不明点などございましたら、学術写真賞係 syasinsyo@cersj.org 宛てにお問い合わせください。